

## 1 受賞団体・個人の名称

のうじくみあいほうじん さわらのうさんぶつきょうきゅうせんたー  
農事組合法人

佐原農産物供給センター(千葉県香取市)

(問い合わせ先)

0478-59-2777

(経歴)

昭和56年 生産者6名により設立、生活協同組合へ農産物の供給を開始。  
「食の安全」と「環境」にこだわり、つくる側と食べる側お互いの信頼関係を構築。  
(受賞時の経営内容)

野菜類44品目(80種類) 作付面積302ha 組合員数147名



## 2 生産面の取組

### ①「栽培基準委員会」で自主基準を確立

・パルシステム生活協同組合連合会が定める「農薬削減プログラム」(優先排除農薬・問題農薬の不使用、除草剤・土壌消毒の不使用)と、化学合成農薬・化学肥料の5割以上削減とを組み合わせた自主基準を、「栽培基準委員会」で確立・管理。



### ②「公開監査制度」により自主基準に基づく生産を徹底

・自主基準に基づく生産を徹底するため、生産者自身による「内部監査委員会」や、消費者・学識経験者等を監査人とする「公開監査制度」により、生産履歴の確認や情報公開を実施。



### ③青果残さの堆肥化

・パルシステム生活協同組合連合会が取り組む青果残さの一時処理堆肥を受け入れ、地域の家畜糞尿と組み合わせて堆肥を製造、生産者へ供給。

## 3 経営面の取組

佐原農産物供給センターの将来を考える「Fプロジェクト」により5カ年計画を策定、以下のような食の安全と環境保全に向けた課題に取り組んでいる。

- ①食品残渣の堆肥化事業の継続
- ②農薬残留検査・土壌検査・硝酸態窒素検査の実施
- ③消費者の農業体験・体験圃場の拡充
- ④遊休農地の活用と、受託生産可能な組織体制の確立
- ⑤地域農業の振興と、担い手育成の実施 等

## 4 取組の成果

- ①環境保全型栽培面積が85%に拡大
  - ・作付面積302haのうち、258haで環境保全型農業を実践。
  - ・7割の生産者がエコファーマーに認定。
  - ・「農薬削減プログラム」達成により「エコ・チャレンジ」に認証。
- ②消費者から「ありがとう」の声
  - ・消費者からの感謝の声が最も多かったことにより、パルシステム生活協同組合連合会より表彰。

## 5 地域社会への貢献

### ①環境保全型農業の啓発

- ・出荷農産物すべてに生産者のメッセージカードを入れ、消費者との交流を図る。
- ・消費者等との交流活動として、佐原センター祭や産直連続講座、料理交流会などを年30回開催、約1000名が参加。
- ・「安心・安全農産物」の紹介および「地産地消」拡大等、地域農業のモデルとして道の駅「水の郷佐原」直売所に参加。



### ②地域食育活動への貢献

- ・女性部「農め〜くらぶ」による出前講座や地元小中学校からの体験学習受け入れ等を実施。